

# 医心伝心 4 April

保健 医療 福祉 分野で社会に貢献します。

— 特集 —

お母さんと赤ちゃんの出会いを全力サポート！

## 安心・安全な

## 出産への取り組み

### ■ かかりつけ医を持ちましょう

当院は、地域医療連携を推進しています。当院を受診される場合は、かかりつけ医からの紹介と予約が必要です。ご理解とご協力をお願いいたします。

### ■ 紹介状持参のお願い

当院は紹介受診重点医療機関です。初診の方は、他の医療機関からの紹介状(診療情報提供書)を必ずお持ちください。紹介状なしで受診された場合、初診時選定療養費(自費)7,700円(税込)がかかり、待ち時間が長くなりますのであらかじめご了承ください。

### ■ 救急外来について

当院の救急外来は、重症度の高い患者さんを優先に診療いたします。円滑な救急医療を行うため、なるべくかかりつけ医か休日診療所、在宅当番医を受診してください。必要に応じて当院にご紹介いただくシステムになっています。

### ■ 予約変更専用窓口について

予約の変更・確認は、予約変更専用窓口で承ります。ただし、歯科口腔外科の場合は歯科口腔外科外来までご連絡ください。

予約変更専用窓口 0566-25-8103  
歯科口腔外科外来 0566-25-8020

NEWS

1

## 救急外来 事前WEB問診のご案内

救急外来



当院ではAI(人工知能)を使用した問診を導入しています。紙の問診票のような定型質問ではなく、AIが最適な質問を自動で判断し、掘り下げてお伺いします。

救急外来では、ご自身のスマートフォンから、来院前に症状などを回答していただく「事前WEB問診」をご利用いただけるようになりました。事前WEB問診をご利用いただいた場合も、来院されましたら救急外来の受付にお越しいただき、受診受付をお願いいたします。

なお、診療の予約をしたり、待ち時間を短くしたりするシステムではありません。

### 救急外来 事前WEB問診のご利用方法

QRコードを読み取り、画面に沿って症状などをご回答ください。回答後に表示される「受付番号」を、スクリーンショットするなど必ずメモしてご来院ください。

救急外来専用  
QRコード



受付番号表示



救急外来以外でも、一部の診療科で、来院時のAI問診・事前WEB問診を導入しています。詳しくはホームページでご案内しています。



NEWS

2

## 通院支援アプリのご案内

医事室 患者サービスグループ

患者さんへのサービス向上と通院のための支援として、スマートフォンアプリを利用した無料サービスを導入しております。通院患者さんより、便利との声をいただいています。ぜひご登録ください。

### 予約日お知らせ機能

検査や診察の前日に、予約のお知らせや注意事項を通知します。

病院に行くのを忘れる  
心配がないわ



### 診察状況お知らせ機能

診察の待ち状況をどこでも確認でき、診察の順番が近づくと、通知が届きます。

診察室の前から離れて  
待ってもいいんだね



### らくらく会計機能

あらかじめクレジットカードを登録しておくことで、後払い機能が利用できます。

会計を待たずに  
帰れるのは楽だね



### ご登録方法

- ① アプリをインストール
- ② 病院内のアプリ受付窓口で利用者登録  
(病院登録用QRコードを読み取り)

iOS



Android



- ・診療棟2階総合受付1～3番窓口 8:30～16:30(月～金曜日)
- ・1棟1階受付 9:00～16:00(月～金曜日)

広報誌タイトル

## 医心伝心 [いしんでんしん]

本来「心を以って心に伝う」の意、以心伝心。私たちの業務も患者さんの言葉のみに頼らず、表情、しぐさ、その向こうにある心の訴えに十分に目を向ける「心配り」を大切にすることが「医療安全」はもとより、快適な診療をお届けする基本だと考えます。そんな意を込め「以」を「医」としてタイトルにいたしました。

## 病院長

み～つけた!

広報誌内に登場しています。  
どこにいらっしゃるのでしょうか?  
(答えは裏表紙に記載)



当院では、医療サービスの向上を目的に、毎年、患者満足度調査を実施しております。2024年10～11月に実施した調査（WEBまたは紙のアンケートで回答）の結果をご報告いたします。詳細はホームページをご覧ください。また、自由記載欄に500件以上のご意見をお寄せいただきました。多くの方にご協力いただき、誠にありがとうございました。

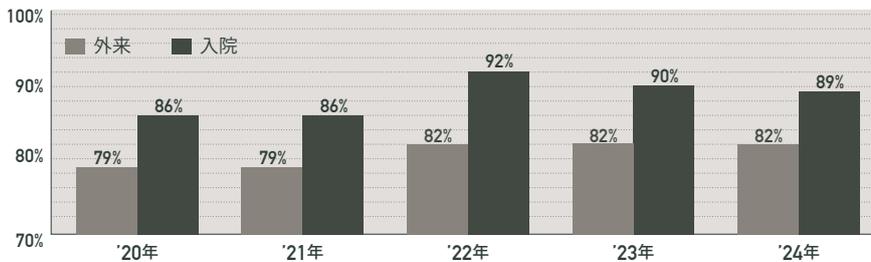
詳細な結果はこちら



### 総合評価

「全体として、当院を信頼・満足している」についてはおおむね高い評価をいただきました。引き続き、病院全体で満足度向上に努めてまいります。

#### ●全回答数に占める「満足」の割合



※回答は「とても満足、やや満足、普通、やや不満、とても不満」の5段階

$$\text{満足} = \frac{\text{とても満足、やや満足の件数}}{\text{総回答数}} \%$$

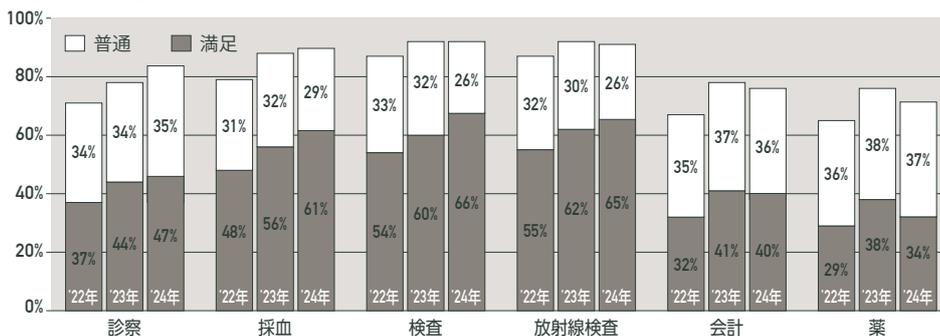
$$\text{普通} = \frac{\text{普通の件数}}{\text{総回答数}} \%$$

$$\text{不満} = \frac{\text{やや不満、とても不満の件数}}{\text{総回答数}} \%$$

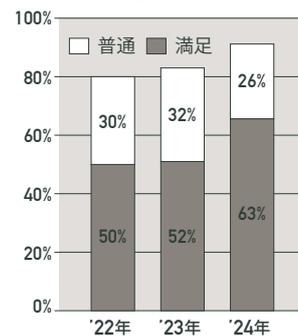
### 継続して改善に取り組んだ項目

2022年度の調査結果で改善が必要と考えた「外来の待ち時間」「入院中の食事の内容・味」の項目は、取り組みの結果、徐々に満足度が向上しています。

#### ●外来の待ち時間



#### ●入院中の食事の内容・味



## Column

### 子宮頸がん予防のためにできること

臨床検査・病理技術科

日本では年間に約1.1万人が子宮頸がんにかかり、約2,900人が亡くなっています。主な原因は、ヒトパピローマウイルス（以下、HPV）の感染で、女性の多くが「一生に一度は感染する」といわれるウイルスです。感染しても自覚症状はなく、ほとんどが自然に治りますが、一部は持続感染して子宮頸がんになります。そのため、HPVワクチン接種による感染予防と、20歳を過ぎたら定期的な検診による早期発見が重要です。

#### HPVワクチン



- ・定期接種の対象は、小学校6年～高校1年相当の女子
- ・子宮頸がんの主な原因となるHPVに対し、高い感染予防効果がある

#### 子宮頸がん検診



- ・2種類の方法がある
- 細胞診…がん細胞や、がんになる前の状態の細胞がないかを調べる
- HPV遺伝子検査…200種類以上あるHPVの遺伝子型の中から、子宮頸がんの原因になりうる遺伝子型に感染しているかどうかを調べる



編集委員からこんにちは

4月は、新生活をスタートされる方が多い季節ですね。慣れない環境で緊張することもあるかもしれませんが、深呼吸をして、春の空気を感じてみてはいかがでしょうか。きっと、春の花々やあたたかな日差しが、皆さんの背中をそっと押してくれます。焦らず、ゆっくりと自分のペースで進んでいけますように。

広報委員 大久保 裕矢

お母さんと赤ちゃんの出会いを全力サポート!

# 安心・安全な出産への 取り組み



当院は愛知県地域周産期母子医療センターとして、年間約500件の分娩を取り扱っており、早産や高齢出産など、さまざまなハイリスク妊娠にも対応しています。女性医師を含む産婦人科医師9名と助産師30名が、24時間体制で診療に当たっています。

また、麻酔科医師、小児科医師も24時間院内に常駐しており、超緊急帝王切開術（グレートAカイザー）への対応も可能です。新生児集中治療室（NICU）・新生児回復治療室（GCU）などの高度な医療施設・設備を備えているため、生まれたばかりの赤ちゃんの状態が悪い時は小児科医師が駆け付け、必要な

## 総合病院ならではの安全・安心な体制

妊娠、出産は新しい命が誕生することであり、妊産婦さん、ご家族にとって、とても素晴らしいイベントです。しかし、出産までの道のりは時に険しいこともあり、お母さん、赤ちゃんの両方にとって命がけとなることもあります。



産婦人科部長

日本産婦人科学会  
産婦人科指導医・専門医

梅津 朋和

## より満足度の高い出産へ、無痛分娩も開始

医療をすぐに提供します。

さらに、当院には30の診療科があり、さまざまな専門診療科の医師が常勤しているため、持病がある方や、妊娠に伴い糖尿病、高血圧、膠原病こうげんびょうなどの病気を発症した方（合併症妊娠）にも対応することができます。このように総合病院の特性を生かして、妊娠中から出産まで、安心・安全な体制を整えています。

東京都で10月から無痛分娩の費用助成が始まるなど、近年、より体に負担の少ない出産や快適な入院生活といったことにも目が向けられています。当院でも安心・安全な出産に加えて、より満足度の高い出産となるような取り組みを行っています。

その一つが、無痛分娩です。かつては、出産は痛いもの、出産の痛みを耐えてこそ母性は生まれてくるといった考え方がありました。特に日本では耐えることを美德とする考えが強く、無痛分娩はあまり広まっていませんでした。しかし、痛みと母性の関係は科学的には何も証明されておらず、欧米では8割以上が無痛分娩です。無痛分娩は、痛みが少ないため、気持ちに余裕をもって出産に臨めることや産後スムーズに育児を行うことができるといったメリットがあります。無痛分娩を選択する妊婦さんは徐々に増え、当院でも、麻酔科と協力して2025年1月から開始しました。

無痛分娩とは、「硬膜外麻酔」を用いて出産時の痛みを軽減させる出産方法です。妊婦さんの背中から背骨の中を通る神経の近く（硬膜外腔）に細い管（カテーテル）を挿入して、その管から薬剤を注入することで意識を保ったまま痛みを軽減します。痛みを完全に無くしてしまつとつまういきむことができなくなるため、完全に痛みを取るのではなく、痛みを和らげる程度となります。

現在は、経産婦さんのみを対象とし、あらかじめ出産日を決め、陣痛を促す薬剤を使用して出産を誘発する方法（計画分娩）で行っています。一般的にデメリットは少ないですが、陣痛を感じなくなつて分娩の進行が遅くなる可能性もあります。そのため、必要な場合には器械を用いて赤ちゃんを引っ張って出すことがあります（吸引分娩・鉗子分娩）。また、麻酔の効果は人によって異なりますので、痛みが十分に取れないこともあります。そのような場合はカテーテルの位置を変更したり、薬剤の量を調整したりします。



硬膜外麻酔時の管（カテーテル）の挿入  
出典：日本産科麻酔学会

また、妊産婦さんにより満足していただくため、産後のお食事を変更しました。管理栄養士と相談して、通常の病院食とは異なる魅力的なメニューへと全面リニューアルし、味はもちろん、産後に必要な栄養がバランスよく摂取できるよう配慮しています。また、見た目でも楽しんでいただけるよう彩りや盛り付けにもこだわっています。裏表紙に写真を掲載しましたので、合わせてご覧ください。

妊娠、出産がづらいものではなく、快適なものとなるように病院一丸となって取り組んでいます。

### 小児科医師の出産への関わり NICU・GCUで24時間赤ちゃんを見守る



小児科部長  
新生児科部長  
日本小児科学会 小児科専門医  
木曾原 悟

小児科では、産婦人科医師と連携をとって妊娠32週以降の切迫早産や赤ちゃんの異常など、リスクの高い出産に対して、出生後の新生児医療を行っています。リスクの高い出産・緊急帝王切開には小児科医師が立ち会います。

NICUは、新生児集中治療室のことです。NICUでは早く生まれた赤ちゃん、呼吸や血液循環の助けが必要な赤ちゃん、病気がある赤ちゃんたちが治療を受けています。元気に大きく育つための部屋です。ここでは、看護師たちも24時間体制で治療・看護をしています。NICUでは常に赤ちゃんの呼吸や心拍、体温を管理するための特別な機器でモニタリングをして、呼吸・循環管理、輸液管理などの治療をしています。

NICUで状態が安定してきた赤ちゃんが、引き続き治療を受ける場所がGCUです。GCUは新生児回復治療室のことです。赤ちゃんの体重や状態によっては最初からGCUに入院することもあります。GCUでは、看護師を中心に、多職種のスタッフと協力し合つて、ご家族が自宅で育児を進めていけるように、退院に向けて育児環境の提供や育児指導を行っています。



上)NICU 下)GCU

## 麻酔科医師の出産への関わり 硬膜外麻酔による無痛分娩を開始



麻酔科管理部長  
日本麻酔科学会  
麻酔科指導医・専門医

吉澤 佐也

出産のニーズの多様化に伴い、日本での無痛分娩率は欧米と比較して低いものの、年々増加しています。日本では、多くの無痛分娩は産婦人科医師によって行われていましたが、2000年代から麻酔科医師が徐々に介入するようになってきました。日本での無痛分娩管理体制は、診療所から総合周産期母子医療センターまで、また、陣痛を促す薬剤を使用してあらかじめ決めた日に出産する計画無痛分娩型から自然に陣痛が起きた時に行う24時間対応型までさまざまです。

当院の麻酔科医師は、手術室での麻酔管理だけでなく、救急集中治療や痛み治療など幅広く業務を行っています。無痛分娩の普及に伴い、現在は経産婦さんを対象とした無痛分娩にも携わっています。

子宮が収縮したり、産道が開かれたりする痛み刺激は、陣痛開始から胎盤が出るま

で、出産の経過時期によって異なる神経を介して脳へ伝達されます。当院の無痛分娩は、麻酔科医師主導の体制で、硬膜外麻酔を使用しています。硬膜外麻酔は通常の手術でも使用しており、麻酔科医師にとっては日常的に行っている麻酔行為ですが、硬膜穿刺後頭痛、高位脊髄くも膜下麻酔、局所麻酔薬中毒、硬膜外血腫といった症状(合併症)が現れることがあります。このような合併症を防ぐために麻酔科医師が、超音波診断装置で位置を確認しながら、背中から硬膜外にカテーテルを挿入します。

また、手術中の麻酔に関する専門的な知識および技量教育を修了した看護師(特定行為看護師)も無痛分娩に携わっています。手術室看護師がチームに加わることで、緊急帝王切開になった場合もスムーズに対応できます。安全で満足度の高い分娩が提供できるように分娩に関わるスタッフ全員で協力し、チームで無痛分娩に取り組んでいます。



硬膜外麻酔の様子

## 助産師の出産への関わり 妊産婦さんの思いに寄り添い、産後まで伴走



産婦人科 病棟・外来部長  
助産師

日比野 恵津子

私たち助産師は、医師と協働し、「満足できる希望に沿った出産」を全力でサポートしています。心と体がダイナミックに変化する妊娠から出産、そして産後の生活。常に「思いに寄り添う姿勢」を大切にし、伴走者として妊産婦さんとご家族を支えます。

### 妊娠中の関わり

妊娠中は、母親教室やパパママ教室などを通して、心と体の変化を理解していただきます。また、医師による妊婦健診と妊婦健診の間の時期に、助産師が妊婦健診を行い、妊婦さんにご家族の希望を伺いながらベースプランを考え(出産に関する希望をまとめ)、出産に向けた準備をします。これを助産師外来といい、妊娠期間中に4回行います。個室で30分程度、妊娠や出産、授乳などの不安や質問にお答えしています。ご家族の同席も可能です。

## 健診センター

年に1回、人間ドックや  
健康診断を受けましょう

完全予約制



女性専用  
エリアを設置

TEL 0566-25-8182 受付時間 月～金曜日  
8時～16時

<https://www.toyota-kai.or.jp/facility/center/>



### 健康寿命を延ばしませんか？

健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことを「健康寿命」といいます。2019年の厚生労働省の調査では、健康寿命は平均寿命より短く、その差は男性で9年、女性で12年以上です。健康寿命を延ばすために欠かせないのが、日頃から病気になるないように取り組む「予防医療」。定期的な健康診断で生活習慣を見直しながら、生活の質を高めましょう。

## 相談窓口

心配なこと、お困りのことなどが  
ありましたら以下の窓口まで

治療や療養上の総合的な相談  
医療安全・医療事故に関すること → 患者相談窓口

療養中の不安や  
医療・福祉・介護の制度について → 総合相談室(医療福祉)

がんに関する相談  
(お電話でも相談可) → がん相談支援センター  
(がん相談窓口:0566-25-8110)

受付時間 月～金曜日 8時30分～16時45分 場 所 正面玄関入って右

## イベント・教室

開催日は変更となる場合があります。  
ホームページで最新情報をご確認ください。



市民公開講座 ※予約不要、どなたでもご参加いただけます

開 催 日 5月19日(月)

テ ー マ 知ってほしい! 放射線治療

時間・場所 13時30分～14時30分 診療棟5階 第1・2会議室

骨粗しょう症教室 ※予約不要、どなたでもご参加いただけます

開 催 日 5月30日(金)

時間・場所 14時～15時30分 診療棟5階 第3会議室

ひまわりサロン(がんと診断された方とご家族の会) ※予約不要

開 催 日 4月21日(月)、5月19日(月)、6月16日(月)、  
7月14日(月)

時間・場所 14時～15時 診療棟4階 がん情報ラウンジ

水曜会(乳がんと診断を受けた方の会) ※予約不要

開 催 日 5月21日(水)、7月16日(水)

時間・場所 14時～15時30分 診療棟4階 がん情報ラウンジ

ピアサポーター(がん治療体験者)による相談会 ※予約不要

社会保険労務士によるがん患者さんの就労支援相談会 ※予約優先

開催日時・場所 毎月第1木曜日 10時～12時 正面玄関

## 出産時・産後の関わり

出産時は、陣痛開始から赤ちゃんが生まれるまで寄り添い、お母さんの持つ「生む力」と赤ちゃんが持つ「生まれる力」を引き出し、自然な出産の経過をサポートします。当院では、合併症がなく、正常な経過の妊婦さんを対象に、医師の立ち合いがない自然分娩を取り入れています。これを院内助産といい、妊婦さんが主体的に、より自然な出産に臨めるよう助産師がお手伝いさせていただくシステムです。出産時に異常が生じた場合は、産婦人科、小児科、麻酔科などの医師が、すぐ

に対応できる体制を24時間整えていますのでご安心ください。

自然分娩を希望されていても、妊婦さんの状態に応じて、帝王切開などに出産方法を変更しなければならぬ場合があります。お母さんと赤ちゃんが共に健康で安全であることを第一条件として、どのような出産方法でも、妊婦さんの思いに寄り添い、不安を解消できるよう努めています。

産後も、産婦さんの気持ちを理解することが何より重要だと考えています。産婦さんが望む授乳や育児に向けて、慌てず焦らず、それぞれのペースに合わせて寄り添います。

当院は、刈谷市が行う産後ケア事業の指定医療機関であり、産婦さんが心身を休めながら、助産師による育児相談や授乳指導を受けることができる産後ケア入院を行っています。ご希望があればこれを利用して入院期間を延長し、不安なく退院日を迎えられるようにしています。退院後も、2週間健診や1カ月健診などで育児支援を行っています。電話による助産師の育児相談も24時間承っています。さらに、市町村や保健センターなども連携し、地域全体で継続的に切れ目のない支援を行っています。



## 産後のお食事をリニューアルしました

産後のお食事を全面リニューアルしました。通常の病院食とは異なり、産後の体力回復を目的として、管理栄養士が栄養バランスを考えています。

味はもちろんのこと、見た目でも楽しんでいただけるように彩りや盛り付け、食器にもこだわりました。1度だけの特別メニューではなく、ご退院まで心を込めて毎食ご用意いたします。



### ママの心と体を癒す 管理栄養士監修の 特別メニュー

動物性脂肪や刺激物は控えめに、  
産後のデリケートな心と体を回復する  
栄養素を多く取り入れています



季節に応じて、旬の野菜を取り入れ、  
こだわりの調理法で提供します

[豊田会理念] 保健・医療・福祉分野で社会に貢献します

[豊田会方針] 温かい思いをこめた、質の高い保健・医療・福祉サービスを提供します

[病院方針]

1. 患者権利の尊重・患者第一主義
2. 地域中核病院としての機能充実
3. ICT技術の活用
4. 働きがいのある職場づくり・人材育成
5. 研修医・専攻医の育成
6. 持続可能な医療提供
7. コンプライアンス(社会的責任を果たす)

[患者の権利と責務]

私たちは患者の皆さまの権利を尊重し、安全で質の高い医療の提供に努めます。

そのためには、患者の皆さまの主体的な参加が不可欠です。

以下に掲げる事項は、患者さんと医療従事者が守るべき事項です。

【患者の権利】

1. 安心して最善の医療を公平に受ける権利を尊重します。
2. 医療機関を自由に選択し、他の医師の意見を求める権利を尊重します。
3. 治療に関する情報を知り、説明を受ける権利を尊重します。
4. 治療に関する方法を自己の意思で決定する権利を尊重します。
5. 個人の情報が保護される権利を尊重します。

【患者の責務】

1. 自ら選んだ治療方針に沿って医療に参加する責任があります。ご自身の健康に関する情報を医療者にできるだけ正確に伝え、また、同意された医療上の指示に従ってください。
2. 病院の規則を守り、犯罪行為、迷惑行為を行わないなどの社会的ルールを守る責任があります。
3. 検査や治療のために、必要な医療費を負担する責任があります。



## ご意見箱

当院に設置しているご意見箱にお寄せいただいた皆さまからのご意見と回答をホームページに掲載しています。貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。



病院長み〜つけた! 解答

①2ページ 救急外来 事前WEB問診のご案内 ②2ページ 通院支援アプリのご案内 らくらく会計機能 ③7ページ 健診センター案内



日本医療機能評価機構の  
認定を受けています



卒後臨床研修評価機構の  
認定を受けています

ISO15189  
2010年11月に認定

刈谷豊田総合病院

検索

<https://www.toyota-kai.or.jp/>  
バックナンバーは当院ホームページでご覧いただけます

